

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年12月25日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	272	環境美化推進事業													
	この事務事業 の位置	政策	自然環境を守り未来へつなぐまち														
		施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう														
		基本事業	環境美化														
	主管課名	生活環境課			課長名	鈴木 孝明											
	この事務事業の開始時期	平成7(1995)年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務												
	この事務事業の根拠法令	みよし市環境美化に関する条例															
	事業の概要			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由													
	・環境美化並びに快適な環境づくりに対する意識の高揚とごみの減量化・資源化について地域住民が自らに取り組んでいただくよう実践活動の輪を広げるための支援をする。 「SDGsの取り組み：6，8，11，12，14」			・生活を営む中で、便利さ、快適さを追求し、大量生産、大量消費、大量廃棄という経済体系を構築した結果、空気の汚れ、水の汚れ、ごみの増大により自然環境破壊並びに環境悪化を招くこととなった。 こうした中、地球的規模での環境問題が重要課題となっており、快適な市民生活の確保及び環境美化の促進を図る必要がある。													
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			・小中学校、保育園、幼稚園、公共施設にて緑のカーテン事業を実施した。 ・一般家庭を対象に緑のカーテン用苗を無料配布した。 ・環境美化指導員を委嘱し、月2回程度の環境美化活動を実施した。													
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
変 化 内 容	変化なし。			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>緑のカーテン実施件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	緑のカーテン実施件数	件	②		
	名称		単位														
	①	緑のカーテン実施件数	件														
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）													
市民				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>みよし市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	みよし市の人口	人	②		
名称		単位															
①	みよし市の人口	人															
②																	
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）													
環境美化意識の醸成及び環境美化の実践をする				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>環境美化実践活動を実施した行政区数</td> <td>行政区</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>環境美化実践活動を実施したのべ人数</td> <td>人</td> </tr> </table>					名称		単位	①	環境美化実践活動を実施した行政区数	行政区	②	環境美化実践活動を実施したのべ人数	人
名称		単位															
①	環境美化実践活動を実施した行政区数	行政区															
②	環境美化実践活動を実施したのべ人数	人															
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）													
環境美化意識の醸成、環境美化の実践				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>環境美化実践活動回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					名称		単位	①	環境美化実践活動回数	回	②		
名称		単位															
①	環境美化実践活動回数	回															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
(1)の 活動指標	①	件	167	167	146	150	150	150	150								
	②																
(2)の 対象指標	①	人	61,218	61,375	61,375	61,380	61,938	62,219	62,500								
	②																
(3)の 成果指標	①	行政区	25	25	25	25	25	25	25								
	②	人	42,531	42,750	46,418	46,650	46,900	47,150	47,400								
(4)の結果の 成果指標	①	回	257	304	283	306	308	310	312								
	②																
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05						
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
財 源 内 訳	事業費(決算又は予算額) A	単位	6,259	9,777	7,450	9,496	9,527	9,499	9,527								
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	521	500	401	500	500	500	500								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	1	0	1	1	1	1								
	一般財源	千円	5,738	9,276	7,049	8,995	9,026	8,998	9,026								
人件費B		千円	3,631.2	7,204	7,396	7,396	7,396	7,396	7,396								
	正職員従事時間×人数	時間×人	102×5	305×5	305×5	305×5	305×5	305×5	305×5								
	正職員以外の人件費	千円	1,836	1,836	2,028	2,028	2,028	2,028	2,028								
その他の費用C		千円	16	16	86	86	86	86	86								
トータルコストA+B+C		千円	9,906.2	16,997	14,932	16,978	17,009	16,981	17,009								
単位あたりコスト		① 千円/人	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0								

事務事業名		No.	272	環境美化推進事業		
2 評価 CHECK	目的妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	環境美化に対する市民の意識の高揚になっている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市と行政区で活動をしているため	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	環境美化の啓発につながるため	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	より一層の啓発に努める		
		目的達成状況	内 容	環境美化実践活動回数について、計画値に対し93%達成している。環境美化実践活動を実施した延べ人数について、計画値に対し108%達成しており、環境美化の実践の輪が広がっている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 広く啓発活動を行う		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	現在の手法が適している。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業費は適正である。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	無料配布を実施しているため。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	マナー並びにモラルに対する意識改革の徹底が必要である。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	啓発活動		変 更 ・ 追 加	なし
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ポイ捨て等の防止に関する条例の施行により、行政だけでなく地域が一体となって環境対策に取り組める体制作りを推進し、環境配慮型の新たなライフスタイルへの転換を求める。令和5(2023)年度から犬・猫死体処理事業及び不法投棄防止対策事業を統合。緑のカーテン事業及び環境美化推進大会は廃止し、環境美化功労者の表彰は、文化の日と統合を検討。啓発ポスターは継続して実施するが、表彰、掲示等を見直す。最優秀賞を受賞した小学生の啓発ポスターの活用や、広報事業の実施など、より効果的、効率的な環境美化啓発方法を検討。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	285	家庭ごみ計画収集事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	環境美化								
	主管課名		生活環境課			課長名	鈴木 孝明					
	この事務事業の開始時期		昭和43(1968)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	・住民から排出されるごみの収集運搬について業者に委託し、指定された集積所に置いて燃やすごみ、金属ごみ、陶磁器・ガラスごみ、プラスチック製容器包装、再利用資源(びん・かん・ペットボトル)を収集、また戸別に粗大ごみを収集し、尾三衛生組合「東郷美化センター」に搬入する。 「SDGsの取り組み：8, 11, 12, 14」					・ごみ排出量は人口増加とともに年々増加傾向にあるものの、ごみの適正処理を図ることは重要である。また、ごみには再び資源としてリサイクル活用できるものが数多くあるため、リサイクル運動(資源の再利用)を進め、あわせてごみの減量化を図る必要がある。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		各地区、燃やすごみ週2回、プラスチック資源週1回、金属ごみ月2回、陶磁器・ガラスごみ月1回、再利用資源月1回、粗大ごみ週1回を計画的に収集した。燃やすごみ、プラスチック製容器包装、金属ごみ、陶磁器・ガラスごみは指定ごみ袋による収集、びん・缶・ペットボトルの資源ごみは再利用資源コンテナを配布して収集し、粗大ごみは電話予約により戸別収集した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)							
変 化 内 容	ごみの資源化、分別収集、直営分を委託化(平成16(2004)年)令和元(2019)年度からペットボトル、令和2(2020)年度からプラスチック製容器包装を計画収集の品目に追加することにより、ごみの減量化、再資源化を図る。				名称		単位					
					① 収集ごみ量	t						
		② 収集ごみ量のうち資源ごみ量		t								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)							
① 市民 ② 家庭から排出されるごみ(燃やすごみ、プラスチック製容器包装、金属ごみ、陶磁器・ガラスごみ、粗大ごみ、再利用資源)					名称		単位					
					① みよし市の人口	人						
		② ごみの総排出量		t								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標 (目的の達成度を示す指標)							
ごみの適正処理を行う					名称		単位					
		① 処理施設搬入量/収集ごみ量		%								
		②										
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標 (上位基本事業の成果指標)							
環境美化意識の醸成、環境美化の実践					名称		単位					
		① 市民1人1日当たりの家庭系ごみの量		g								
		②										
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① t	16,526	16,568	16,788	16,789	16,942	17,019	17,096			
		② t	2,271	2,277	2,175	2,175	2,195	2,205	2,215			
(2)の対象指標		① 人	61,218	61,375	61,375	61,380	61,938	62,219	62,500			
		② t	19,437	20,510	20,040	20,626	20,609	20,671	20,730			
(3)の成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の成果指標		① g	512	495	498	491	487	485	482			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	589,857	617,913	593,780	606,168	609,162	611,735	613,388			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	106,879	112,200	115,431	111,104	111,189	111,104	108,162			
一般財源		千円	482,978	505,713	478,349	495,064	497,973	500,631	505,226			
人件費B		千円	6,574.6	6,764.7	6,833.7	6,833.7	6,833.7	6,833.7	6,833.7			
正職員従事時間×人数		時間×人	280×6	289×6	289×6	289×6	289×6	289×6	289×6			
正職員以外の人件費		千円	661	661	730	730	730	730	730			
その他の費用C		千円	1,010	1,010	646	646	646	646	646			
トータルコストA+B+C		千円	597,441.6	625,687.7	601,259.7	613,647.7	616,641.7	619,214.7	620,867.7			
単位あたりコスト		① 千円/人	9.8	10.2	9.8	10	10	10	9.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/t	30.7	30.5	30	29.8	29.9	30	30			

事務事業名		No.	285	家庭ごみ計画収集事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	家庭から排出されるごみの回収を行うため、見直す必要はない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	家庭から排出されるごみの回収を行うため、見直す必要はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	再利用資源の収集運搬量を増加させ、ごみの減量化を図る		
		目的達成状況	内 容	ごみの適正処理を100%実施し、目的を達成した		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 計画収集業者、シルバーに委託		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	現状で適正		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	現状で適正		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	現状で適正	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	尾三衛生組組合「東郷美化センター」に搬入するごみから発生する焼却灰等の排出先の確保が困難となっている。	対応策	ごみの分別を細分化し、焼却するごみの量を減らす。
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	令和5(2023)年10月からプラスチック製容器包装・プラスチック製品廃棄物を資源として一括回収を開始	変 更 ・ 追 加	なし	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・ごみの減量化及び資源の有効利用を推進するとともに、住民の資源ごみ有効利用に対する認識を深め、ごみの分別収集並びにリサイクル運動（資源再利用）の普及を図るために「ごみ処理基本計画」に基づき、事業を実施する。 ・令和5(2023)年10月からプラスチック製容器包装・プラスチック製品廃棄物を資源として一括回収を開始した。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	286	不燃物埋立処分場管理事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		環境美化							
	主管課名		生活環境課			課長名	鈴木 孝明					
	この事務事業の開始時期		昭和61(1986)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	・尾三衛生組合で処理困難な廃棄物のうち、一般家庭から発生するコンクリートがらの埋立処分を行う。 【不燃物埋立処分場】借地面積：8,816㎡ 「SDGsの取り組み：8, 11, 12, 14」					・不燃物埋立処分場として、みよし市内の一般家庭から発生するコンクリートがらの埋立をしている。 ・尾三衛生組合の処理困難物について住民の利便性を図るため、自前の処分場が必要。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			平成25(2013)年4月1日より、処分場の搬入を再開し、一般家庭から発生するコンクリートがらの埋立処分を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	常駐職員がいたが、現在は無人である。				名称		単位					
					① 管理経費		千円					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 家庭から排出されるコンクリートがら					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 不燃物処分量		t					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) コンクリートがらを適正に処分する					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 処分場処分量/処分場搬入量		%					
					②							
結果(上位基本事業の意図) 環境美化意識の醸成、環境美化の実践					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 市民1人1日当たりの家庭系ごみの量		g					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① 千円	3,688	4,443	3,284	4,759	4,451	4,759	4,451			
		②										
(2)の対象指標		① t	5.21	5.21	3.72	3.72	3.72	3.72	3.72			
		②										
(3)の成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の成果指標		① g	512	495	498	491	487	485	482			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	3,687	4,443	3,283	4,754	4,446	4,754	4,446			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	16	15	11	100	100	100	100			
	一般財源	千円	3,671	4,428	3,272	4,654	4,346	4,654	4,346			
人件費B		千円	2,321	2,035.9	1,568.9	1,568.9	1,568.9	1,568.9	1,568.9			
正職員従事時間×人数		時間×人	150×3	123×3	123×3	123×3	123×3	123×3	123×3			
正職員以外の人件費		千円	737	737	270	270	270	270	270			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	6,008	6,478.9	4,851.9	6,322.9	6,014.9	6,322.9	6,014.9			
単位あたりコスト		① 千円/t	1,153.2	1,243.5	1,304.3	1,699.7	1,616.9	1,699.7	1,616.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	286	不燃物埋立処分場管理事業		
2 評価 CHECK	目的妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	処分が不可能な廃棄物の最終処分を行う必要があるため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	家庭から排出されるコンクリートがらの最終処分場であるから。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	現状で適正	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	これ以上成果は向上しない		
		目的達成状況	内 容	処分場処分量／処分場搬入量について100%達成できている		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 市の職員で十分に対応できる		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	現状で適正		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	現状で適正		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	受益者負担の見直しにより、令和2(2020)年度に改正	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	無人の施設であるが、夏場の草刈り等で管理に人手がかかる。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	コンクリートがらを適正に処分した		変 更 ・ 追 加	なし
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・平成20(2008)年12月より搬入を中止し、平成23(2011)年度から24(2012)年度において、適正化工事を実施。 ・平成25(2013)年度より、コンクリートがらのみを搬入開始。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			